

## 研究活動 Research Activities

各研究者の研究活動を[展覧会の企画・構成]、[著書]、[論文]、[翻訳]、[エッセイ・作品解説など]、[口頭発表・講演など]、[その他の活動]の7項目を中心に報告する(研究者名の五十音順)。項目は各研究者によって多少の異同がある。また、これは研究者の美術館内外での主要な研究活動の報告であり、著目録のようにあらゆる活動を網羅することを意図してはいない。大項目に絞った報告もある。

大屋美那/Mina OYA

[展覧会の企画]

「ジャック・カロの版画」展、国立西洋美術館常設展示室、2003年9月13日-12月14日  
「ロダン——カリエール展(仮題)」(2005年度開催予定)の準備

[エッセイなど]

「ジャック・カロの版画」、『ゼフェロス』第16号、2003年8月

[講座]

「ロダン彫刻における女性像」、跡見学園女子大学短期大学部・文京区教育委員会共催、2003年6月7日

[その他の活動]

「保存担当学芸員研修」参加、東京文化財研究所、2003年7月8日-19日  
松方コレクション関係の資料の収集と整理

河口公生/Kimio KAWAGUCHI

[著作]

『《地獄の門》免震化と修復』、国立西洋美術館、2003年

[論文]

「国立西洋美術館所蔵《地獄の門》の帰属について」、『《地獄の門》免震化と修復』、国立西洋美術館、2003年、pp.12-15

[講師]

平成15年度博物館職員講習 社会教育研究所  
講演「美術館における保存修復の役割」、平成15年度玉信キュレーターズ(玉川大学)研究会

[絵画保存修復]

ブラングイン《男の肖像》修復処置  
ウェイデン派《ある男の肖像》修復処置

[彫刻保存修復]

プーデル《弓を引くヘラクレス》免震化工事ならびに保存修復処置  
ロダン前庭ブロンズ彫刻作品保守処置  
《地獄の門》《カリーの市民》《考える人》《アダム》《エヴァ》洗浄、保護幕塗布、補彩処置  
ピストルフィ大理石彫刻洗浄処置

[タペストリー修復]

《シャンポール城》修復処置

[額縁処置]

クリベリ額装修復処置  
ブラングイン額装修復処置

[展覧会作品点検・展示]

ヴァチカン展(立ち上がり)

[その他]

全国美術館会議総会

石彫刻調査欧州出張(ベルリン、パリ)  
クーリエ(ヴァン=ゴッホ《ばら》返却)

川口雅子/Masako KAWAGUCHI

[情報資料活動]

オンライン蔵書目録(OPAC)の一般公開  
研究資料センターの公開運用  
資料コーナーおよびデジタルギャラリーの公開運用

[論文]

「コレクション・マネジメントから利用者サービスへ:ポーラ美術館情報システム事例報告」、『アート・ドキュメンテーション研究』第11号、2004年、pp.3-14

[その他の活動]

ポーラ美術振興財団ポーラ美術館収蔵品管理システム構築プロジェクト参加  
日本博物館協会「平成15年度博物館指導者研究協議会(情報部門)」(2003年1月15-16日、東京国立博物館)参加  
アート・ドキュメンテーション研究会役員

幸福輝/Akira KOFUKU

[展覧会企画・構成]

「レンブラントとレンブラント派——聖書、神話、物語」、国立西洋美術館、2003年9月13日-12月14日

[著書]

『レンブラントとレンブラント派——聖書、神話、物語』、日本放送協会、2003年9月

[論文]

「物語画家レンブラント/肖像画家レンブラント——展覧会に寄せて」、上記展覧会カタログ、pp.6-13

[エッセイ・作品解説など]

上記展覧会カタログ、すべての作品解説、pp.56-207  
「ヤン・ブリューゲル《アブラハムとイサクのいる風景》」、『国立西洋美術館年報』No.37(2004年3月)、pp.9-11

[口頭発表・講演など]

「肖像画家レンブラント/物語画家レンブラント」、国際シンポジウム「レンブラントと17世紀オランダ物語画」、国立西洋美術館、2003年9月  
「レンブラントと17世紀オランダ物語画」、朝日カルチャーにおける4回連続講義、2003年10月-11月  
「物語画家レンブラント」、国立西洋美術館、2003年11月  
「聖母のいる風景——ヤン・ファン・エイクを中心に」、朝日カルチャー、2004年2月  
「フランス・ハルスと“さまよえるオランダ絵画”」、佐倉市立美術館、2004年2月

[その他の活動]

東京大学大学院併任教授(文化資源学)  
慶應大学非常勤講師(文学部美術史学)  
女子美術大学非常勤講師(美術学部芸術学)

美術史学会常任委員  
新潟県立近代美術館収集委員  
国際シンポジウム「レンブラントと17世紀オランダ物語画」企画構成  
科学研究費基盤研究B「16,17世紀西欧における版画出版と古代の  
受容」研究代表者  
展覧会「キアロスクーロ ルネサンスとバロックの版画展」(仮)(2005  
年予定)の予備調査  
展覧会「英国風景画」(仮)(2007年)の予備調査

佐藤直樹 / Naoki SATO

[論文・著作]

『ドレスデン版画素描館所蔵 ドイツ・ロマン主義の風景素描』展カ  
タログ、ペトラ・クールマン=ホディック、佐藤直樹編集、国立西洋美術館、  
2003年  
『ロマン主義におけるデイレクタントの役割 —— ゲーテ、フリードリヒ、メ  
ンデルスゾーンの素描をめぐって』、上記展覧会カタログ、pp.174-189  
『はじめに —— ドイツ・ロマン主義特集号によせて』、『国立西洋美術  
館研究紀要』No.8、国立西洋美術館、2003年(予定)

[定期刊行物]

『ドレスデン版画素描館所蔵 ドイツ・ロマン主義の風景素描』につい  
て、『ゼフュロス』15号、2003年

[展覧会]

『ドレスデン版画素描館所蔵 ドイツ・ロマン主義の風景素描』展、国  
立西洋美術館、2003年、カタログ編集および展示  
『聖杯 —— 中世の金工美術展』、カタログ・テキスト翻訳、編集補佐、  
展示補佐準備(2004年夏)  
『ドレスデン国立美術館展 —— 世界の鏡 —— (仮称)』展準備(2005  
年夏予定)

[講演など]

『ウィーンと美術館 —— 美術史美術館のコレクションとアルベルティ  
ーナ版画素描館の再生 —— 』、一橋フォーラム21、第54期、如水会館、  
2003年10月28日

[研究調査]

『16-17世紀西欧における版画出版と古代の受容』(平成15-18年度  
科学研究費補助金基盤研究、「16世紀ドイツにおける版画出版と古  
代の受容 収集、整理、考察」、2006年発表予定、国立西洋美術館、  
共同研究者:幸福輝)

[大学非常勤]

日本女子大学文学部史学科、講座:芸術・思想「西洋美術史 ——  
(夢)の表現の歴史」、2003年9月-2004年3月

高橋明也 / Akiya TAKAHASHI

[展覧会企画・構成]

『織りだされた絵画 —— 国立西洋美術館所蔵17-18世紀タピスリー』  
展、2003年3月18日-5月25日  
『ファウストとハムレット:ドラクロー —— ロマン派石版画の世界』、2004  
年3月2日-5月30日

[エッセイ・作品解説など]

展覧会報告『織りだされた絵画 —— 国立西洋美術館所蔵17-18世紀  
タピスリー』展、『国立西洋美術館年報』no.37(2004年3月)、pp.19-  
20  
『松方コレクションについて』、『ゼフュロス』no.17  
『ファウストとハムレット:ドラクロー —— ロマン派石版画の魅力』、『ゼ  
フュロス』no.18  
『蘇る『松方コレクション』』、朝日新聞、2003年5月8日(夕刊)  
『2002年度「杜賞」選考』、『東京藝術大学美術学部杜の会会報』第  
17号、pp.13-14  
『織りだされた絵画』、『うえの』no.528、pp.44-45

[口頭発表・講演など]

『絵画と工芸の間で —— ヨーロッパのタピスリー芸術』、『織りだされ  
た絵画 —— 国立西洋美術館所蔵17-18世紀タピスリー』展記念講演  
会、2003年5月10日  
『織りだされた絵画 —— 国立西洋美術館所蔵17-18世紀タピスリー』  
展ギャラリートーク、2003年3月28日、4月4日、5月16日

[その他の活動]

展覧会企画準備・調査『ジョルジュ・ド・ラ・トゥール展』(2005年)、『カ  
ミーユ・コロッセ』(2006年)  
国立西洋美術館構内整備委員会委員長  
青山学院女子短期大学非常勤講師(2002年4月-2003年3月)  
いわさきちひろ美術館運営委員  
東京藝術大学美術学部「杜賞」(2002年度)選考委員  
鈴廣「ちいさな美術展」審査委員  
日本色彩学会関東支部主催「国立西洋美術館所蔵タピスリー鑑賞  
会」講師(2003年4月17日)

高梨光正 / Mitsumasa TAKANASHI

[展覧会の企画・構成]

『ヴァチカン美術館所蔵古代ローマ彫刻展 生きた証 —— 古代ローマ  
人と肖像』、国立西洋美術館、2004年3月2日-5月30日

[論文・著作]

『ヴァチカン美術館所蔵古代ローマ彫刻展 生きた証 —— 古代ローマ  
人と肖像』展カタログ、2004年(編集、共著)  
『De calvitone caesaris カエサルのはげ頭』、同上カタログ、pp.57-75  
『人物略伝および用語解説』、同上カタログ、pp.234-249

[翻訳]

パオロ・リヴェラーニ「古代ローマの肖像 —— その起源、発展そして  
機能」『ヴァチカン美術館所蔵古代ローマ彫刻展 生きた証 —— 古代  
ローマ人と肖像』展カタログ、pp.16-30  
ジャンドメニコ・スピノラ「ローマ皇帝と時代の流行」、同上カタログ、  
pp.31-42  
同上カタログ作品解説、nos.1, 14, 17, 18, 21-24, 54-58, 60, 64-78, 85

[その他]

『ヴァチカン美術館所蔵古代ローマ彫刻展 生きた証 —— 古代ローマ  
人と肖像』展記念講演会およびトーク、2004年3月2日  
同展覧会スライド・トーク、2004年3月12日  
同展覧会ファミリー・プログラム、ギャラリートーク、2004年3月20日、  
21日  
所蔵作品データベースの管理・拡充  
明治学院大学非常勤講師

田中正之 / Masayuki TANAKA

[翻訳]

『岩波世界の美術 キュビズム』、岩波書店、2003年4月

[展覧会評]

『マティス・ピカソ展』、『読売新聞』、2003年4月2日(夕刊)  
『シュルレアリスム革命展』、『西洋美術研究』、2003年5月

[その他]

国立西洋美術館在外研修、2002年6月-2003年6月  
マティス展の調査企画(2004年9月開催予定)  
ムンク展の調査企画(2007年9月開催予定)  
年報の編集  
紀要の編集委員

田辺幹之助/Mikinosuke TANABE

[翻訳]

「ドイツ・ロマン主義の風景素描 ドレスデン版画素描館所蔵」、ペトラ・カールマン=ホディック、佐藤直樹編、国立西洋美術館、2003年、cat.nos.50-59

[その他の活動]

東京芸術大学非常勤講師、2003年4月-2004年3月  
旧松方コレクションの研究調査  
「聖杯——中世の金工美術展」(国立西洋美術館、2004年)の準備  
「クラナハ木版画展(仮称)」(国立西洋美術館、2006年度)の準備

塚田全彦/Masahiko TSUKADA

[保存修復事業]

貸し出し作品保存処置(温湿度データロガーの設置)  
絵画作品修復処置に伴う化学分析

[学会発表]

「パンリアル美術協会技法材料研究 その2—膠のホルマリンによる変化の検出—」、文化財保存修復学会第25回大会、京都造形芸術大学、2003年6月7日、8日(共同発表(ポスター)):塚田全彦、眞鍋千絵、松田泰典  
“Glassy Substances Found in a Decorative Painting,” The Traditional Paint Forum’s Eighth Annual Conference, Royal Pavilion Brighton, February 26-27, 2004 (共同発表(ポスター)): Michie Konishi, Masahiko Tsukada, Janet Brough  
“Effect of formalin on animal glue - Preliminary study on the materials and techniques used in paintings of ‘Panreal Art Group’,” Sixth International Infrared and Raman Users’ Group Conference, Institute for Applied Physics “Nello Carrara,” March 29 - April 1, 2004 (ポスター)

[講演]

「国立西洋美術館における虫歯菌への対応」、『臭化メチル燻蒸代替法に関する研究』平成15年度第一回研究会、東京文化財研究所、2003年5月20日  
シンポジウム「美術館・博物館のリスクマネジメントを考える」第二部 パネルディスカッション参加、慶応大学、2004年1月24日

[研究]

平成15年度日本学術振興会科学研究費(若手研究B)「油絵具の乾燥における脂肪酸組成の変化に対する顔料の影響」

[調査・その他]

版画収蔵庫新設に伴う空気汚染調査  
「ヴェチカン美術館所蔵古代ローマ彫刻展」の展示具設営材料に関わる材質調査  
文化財保存修復学会誌編集委員  
東京農工大学非常勤講師(2003年4月-2004年3月)  
東京芸術大学非常勤講師(2004年1月)  
東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター客員研究員(2003年4月-2004年3月)

寺島洋子/Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

「Fun with Collection '03 ココロのマド——絵のかたち」企画・構成・実施、2003年7月1日-8月31日  
「ドレスデン版画素描館所蔵ドイツ・ロマン主義の風景素描」「レンブラントとレンブラント派」ジュニア・パスポート(共同編集)  
'03年度インターン指導  
小・中学校教員のための夏期研修会の企画・実施  
びじゅつあー(子ども向け国立西洋美術館常設展ガイド)(共同編集)

[口頭発表]

「アメリカの美術館におけるインターンシップについて」ミュージアム・マネージメントをめぐる公開研究会(国立科学博物館)、2003年12月13日  
「国立西洋美術館における小・中学生に対する教育普及事業」平成15年度第2回東京都博物館協議会見学研修会、2004年3月19日

[その他の活動]

2004年Fun with Collectionの準備・調査  
国立西洋美術館ボランティア制度の準備・調査  
全国美術館会議第19回学芸員研修会の共同企画および実施(前期:2003年12月17日・18日、後期:2004年2月4日・5日・6日)  
「博物館の機能及びその効果的な運営の在り方に関する実証的研究」、文部科学省科学研究費(特別研究促進費)の研究(平成15年度)  
一橋大学大学院言語社会研究科非常勤講師(2003年10月-2004年3月)  
東京大学人文社会系研究科併任助教(2003年4月-2004年3月)

渡辺晋輔/Shinsuke WATANABE

[展覧会]

「ドイツ・ロマン主義の風景素描」展カタログ共同編集、国立西洋美術館、2003年

[エッセイ]

「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」、『ゼフュロス』No.17、2003年11月

[翻訳]

「ドイツ・ロマン主義の風景素描」展カタログ、作家解説、2003年8月

[その他の活動]

「キアロスクーロルネサンスとバロックの版画展(仮称)」(2005年開催予定)の準備  
「チューリヒ工科大学所蔵イタリア古版画展(仮称)」(2007年開催予定)の準備  
科学研究費補助金研究「16-17世紀西欧における版画出版と古代の受容」(共同研究)  
構内整備検討委員会委員  
『国立西洋美術館研究紀要』の編集